

# 2027年国際園芸博覧会の準備状況と 今後の方針について

---

国土交通省 都市局  
令和5年5月31日(水)



# 37年ぶりの国際園芸博覧会の自国開催

- 1990年の大阪花の万博以来、日本で37年ぶりのA1クラス（最上位）の国際園芸博覧会。
- 国際博覧会事務局（BIE）認定の、日本では通算7回目の条約に基づく万国博覧会。

**GREEN×EXPO 2027** (正式略称)

## 「GREEN」

「植物」、「花」、「緑」を総称する言葉であり、  
「自然」、「環境にやさしい」という意味

×

## 「EXPO」

国際的に共通する課題の解決に寄与する  
国際博覧会

- **SDGsの達成**や**GX（グリーントランスフォーメーション）の実現**に貢献する博覧会として、  
これからの自然と人、社会の持続可能性を追求し、世界と共有する場を目指す
- **グリーン社会の実現**に向け、2030年以降も見据えつつ、多様な主体の取組を共有する場を目指す

# 2027年国際園芸博覧会の主な取り組み

**ネイチャーポジティブ**、30by30、NbS（Nature-based Solutions：自然を活用した解決策）、**カーボンニュートラル**に係る取組を推進する観点から、本博覧会では主に以下の取組を展開

## 自然資本がもたらす恩恵への理解の促進

自然資本が**社会経済活動にもたらす恩恵への理解を促進**し、これにより成り立つ**豊かで安全かつ持続可能な暮らし**を提案

### 【キーワード】

グリーンインフラ、Eco-DRR、植物由来技術、バイオミクリー、生物多様性の保全・持続可能な利用、園芸療法 など

## 様々な主体との連携・協働、人材育成の推進

本博覧会を**プラットフォーム**として、多様な企業、教育機関、研究機関、NGO等が、ネイチャーポジティブな取組・技術を共有

### 【キーワード】

デジタル技術の活用（Society5.0）、TNFD、TCFD、環境教育、ESG投資、フードロス など

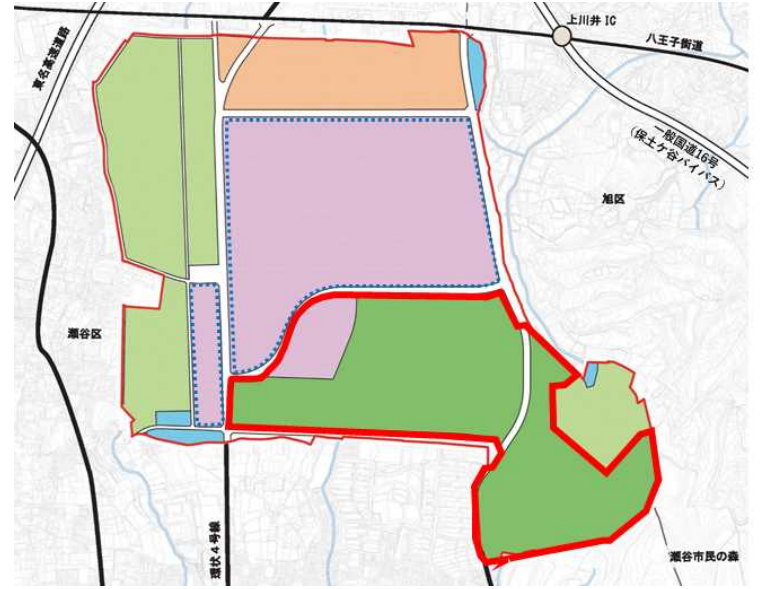
# 旧上瀬谷通信施設について







- 旧上瀬谷通信施設（区域面積：約242ha）は、米軍施設として利用され、約70年間にわたって土地利用が制限されていた区域。
- 2015年の全域返還を受け、横浜市は、農業振興と都市的土地利用により、郊外部における新たな活性化拠点を形成することとしている。
- 2027年国際園芸博覧会の会場の大部分は、博覧会后、都市公園として活用される予定。



旧上瀬谷通信施設

会場区域



凡 例	
農業振興地区	
観光・賑わい地区	
物流地区	
公園・防災地区	
道路	
調整池	




旧上瀬谷通信施設地区	
会場区域(約80ha)	
駐車場・バスターミナル等の設置検討エリア	

図 旧上瀬谷通信施設周辺の航空写真

図 旧上瀬谷通信施設の土地利用計画図と博覧会会場区域等

- 計画地の自然環境が有する多様な機能を効果的に取り入れた会場を整備。
- 多様な主体同士のつながりを生み出し、地域・国内外の課題解決や新たな産業の創出につなげることが可能な空間を効果的に配置。



# 本博覧会で展開される取組(例)

## 四季を感じさせる花修景



## 日本の伝統園芸(盆栽)の展示



## 植物と光の演出



## リアル（植物本来の美しさ・魅力）とデジタル技術による演出が融合した展示



## 先端技術（自動運転）等により、快適性向上等を図り移動自体が楽しめる会場



## ● GREEN×EXPO ラボ



**チェアパーソン**  
(総合監修、ランドスケープ)

**涌井 史郎 様**

東京都市大学環境学部特別教授  
愛知万博で会場演出総合プロデューサーを担当



**農&園藝チーフコーディネーター**  
(花き園芸・造園・農の展示・出展、  
植物監理)

**賀来 宏和 様**

千葉大学大学院園芸学研究科客員教授  
2004年「浜名湖花博」で総合プロデューサーを担当



**マスターアーキテクト**  
(建築)

**隈 研吾 様**

東京大学特別教授・名誉教授



**運営事業チーフディレクター**  
(会場運営・管理、催事、広報)

**若松 浩文 様**

空間デザイナー、株式会社ランド代表取締役  
愛知万博で運営事業ディレクターを担当



**クリエイター**  
(屋内展示企画・キービジュアル開発)

**蜷川 実花 様**

写真家、映画監督



▲蜷川クリエイターによるキービジュアル



- 地元地方公共団体及び経済界が中心となり、「一般社団法人2027年国際園芸博覧会協会」を設立。
- 国は、園芸博法に基づき、**同社団法人を博覧会の準備及び運営を行う者（開催者）として指定。**
- 更に、令和4年12月20日には**公益社団法人として認定。**

協会役職	氏名	所属・役職
会長 代表理事	十倉 雅和	一般社団法人 日本経済団体連合会 会長
事務総長 代表理事	河村 正人	元内閣府 地方創生推進事務局長
副会長 理事	石渡 恒夫	一般社団法人 神奈川県経営者協会 会長
	上野 孝	一般社団法人 神奈川県商工会議所連合会 会頭 横浜商工会議所 会頭
	黒岩 祐治	神奈川県知事
	小林 健	日本商工会議所 会頭
	櫻田 謙悟	公益社団法人 経済同友会 代表幹事
	野並 直文	一般社団法人 神奈川県経営者協会 会長
	山中 竹春	横浜市長
	和田 新也	一般社団法人 日本造園建設業協会 会長
理事	河原 隆子	横浜商工会議所 女性会 会長
	草野 満代	フリーアナウンサー

協会役職	氏名	所属・役職
理事	小室 淑恵	株式会社 ワーク・ライフバランス 代表取締役社長
	サヘル・ローズ	俳優
	田代 桂子	公益社団法人 経済同友会 副代表幹事 大和証券グループ本社 取締役 兼 執行役副社長
	田中 里沙	学校法人 先端教育機構 事業構想大学院大学 学長
	ナリン アドバニ	entomo pte. ltd. Co-Founder BIPROGY 株式会社 社外取締役
	南場 智子	株式会社 ディー・エヌ・イー 代表取締役会長
	横田 響子	株式会社 コラボラボ 代表取締役
	吉高 まり	三菱UFJリサーチ&コンサルティング 株式会社 調査・開発本部 ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部 プリンシパル・サステナビリティ・ストラテジスト
事務次長・ 業務執行理事	佐藤 速水	元農林水産省 農村振興局長
監事	太田 眞晴	日本公認会計士協会 神奈川県会 会長
監事	二川 裕之	前神奈川県弁護士会 会長

(令和5年4月1日時点。協会役職順・氏名 五十音順。敬称略)

# 2027年国際園芸博覧会関係閣僚会議(第1回)

2027年国際園芸博覧会の円滑な準備及び運営に資するため、これに係る重要な問題であって国の施策に関連する事項を協議する目的をもって、2027年国際園芸博覧会関係閣僚会議を開催。

## 開催概要

- 日時：令和5年4月28日（金）8時15分～
  - 場所：官邸4階大会議室
  - 議事：2027年国際園芸博覧会の準備状況について
  - 会議の構成
- |     |               |
|-----|---------------|
| 議長  | 内閣官房長官        |
| 副議長 | 国際園芸博覧会担当大臣   |
| 構成員 | 国際博覧会担当大臣     |
|     | 内閣府特命担当大臣（防災） |
|     | 国家公安委員会委員長    |
|     | 復興大臣          |
|     | 総務大臣          |
|     | 法務大臣          |
|     | 外務大臣          |
|     | 財務大臣          |
|     | 文部科学大臣        |
|     | 厚生労働大臣        |
|     | 農林水産大臣        |
|     | 経済産業大臣        |
|     | 国土交通大臣        |
|     | 環境大臣          |
|     | 防衛大臣          |



- ◆ 第1回2027年国際園芸博覧会関係閣僚会議の中で、岸田総理より2027年国際園芸博覧会のシンボルとなる公式ロゴマークを公表。
- ◆ 本博覧会の成功に向け、関係閣僚で一丸となるとともに、オールジャパンで連携し、開催準備に万全を期すこと。その取組を具体化するため、2023年8月中を目途に、博覧会の準備及び運営に関して政府として取り組むべき対策の「基本方針」を取りまとめるよう指示。



### 【公式ロゴマークコンセプト】

緑は、しなやかに形を変えながら、私たちの暮らしに様々な幸福を積み重ねている。木の葉がもたらす安らぎや、爽やかな大気。花びらが感じさせる美しさや、心地よさ。いま世界は、緑と新たな関わりを育もうとしている。2027年国際園芸博覧会で描かれるのは、自然・社会・人が共にある、これからの暮らしの風景。きっとそこでは、一人ひとりが幸せな明日を咲かせている。

# 基本方針の策定について

今後、2027年国際園芸博覧会の円滑な準備及び運営を行うにあたり、関係府省庁で連携して政府として取り組むべき対策を「基本方針」として取りまとめる。

## 基本方針の構成（案）

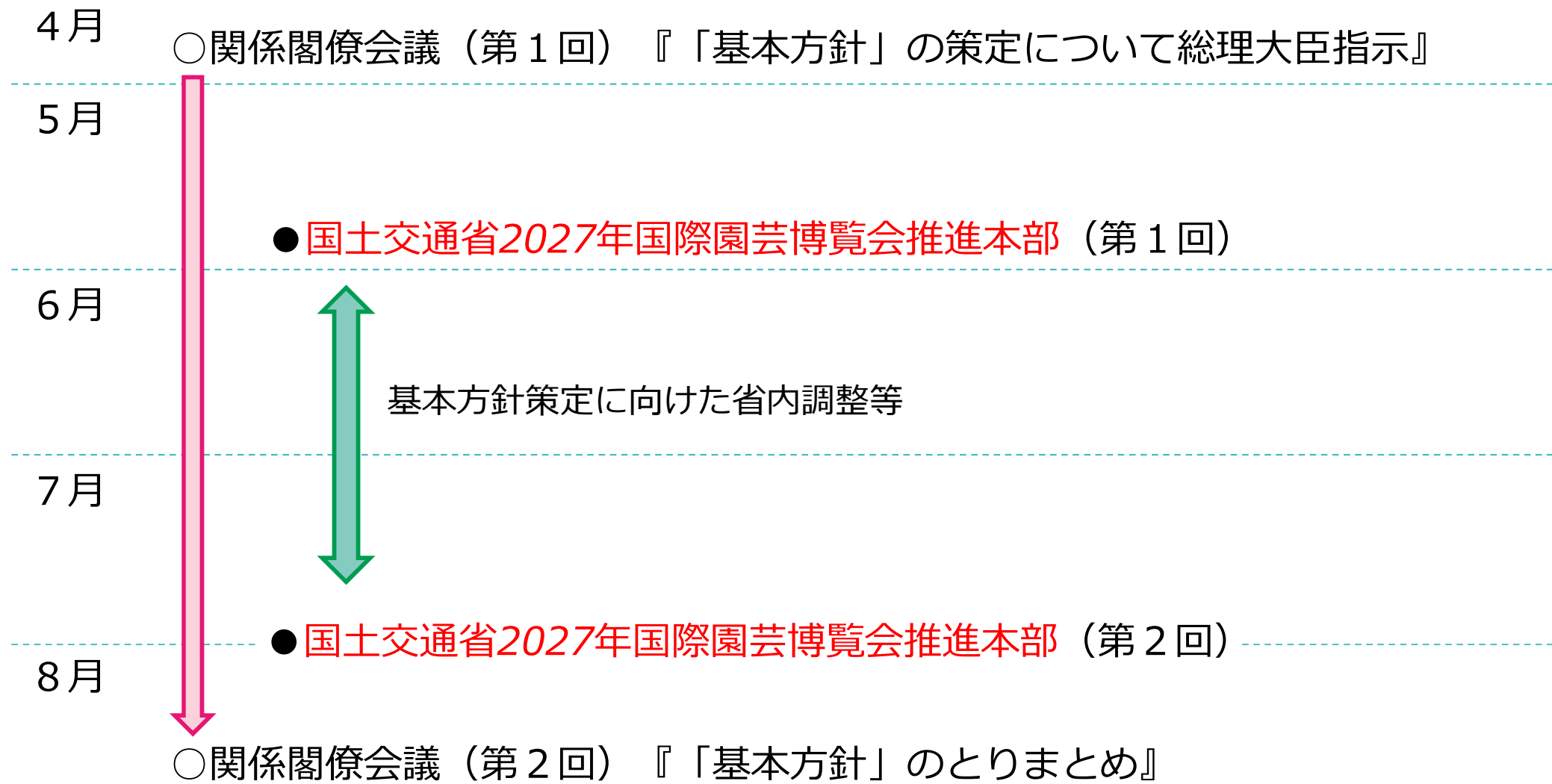
- I.はじめに
  - ・国際園芸博覧会開催の意義、政府のこれまでの取組等。
- II.基本的な考え方
  - ・花や緑、食等の魅力的なコンテンツの提供
  - ・生物多様性の保全等の地球規模の課題に対するグリーンインフラの実装等、本博覧会の取組の具体化への基本的な考え方。
- III.2027年国際園芸博覧会の円滑な準備及び運営
  - ・着実な会場整備の推進、関連公共事業の整備、セキュリティや安全安心の確保、参加招請活動の展開、機運醸成や資金調達の取組等、政府で取り組むべき対策。

### 関連公共事業の整備に関する計画

本博覧会の利用者に資する関連公共事業のうち、特に開催の効果を向上させる事業について定め、会場周辺の整備を着実に実施する。

# 基本方針策定スケジュール

- 今後、基本方針（案）に盛り込むべき国土交通省関係事項を調整。
- 8月目途の基本方針とりまとめに向け、次回推進本部で議論。



## ロゴマークの活用

名刺への記載案 (ヨコ版)



名刺への記載にもご協力下さい

## ポスター、チラシ等の配布



省内、国営公園等で掲示中

GREEN×EXPO 2027を盛り上げるため、機運醸成に努めてまいります。  
推進本部の皆様におかれましても、ご協力をお願いいたします。